

趣旨

本入試は、4年間の深い学びと人間的成長の機会を得ることを真摯に求める者の中から、出願時までには修得した学力に加え、情報を整理分析する力、論理的に思考する力、課題を発見する力、リーダーシップ、自分の意見を表現する力等に優れた者を選抜することを目的とします。

知のかけはし入学試験と学力の3要素の関係

◎特に強く関連している ○強く関連している △関連している	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性等
出願書類	△	△	△
外国語資格・検定試験の成績	◎	○	
講義の要旨	△	◎	
小論文	△	◎	
グループディスカッション	△	◎	◎
面接(情報数理科学科以外)	△	◎	○
面接(情報数理科学科)	◎	◎	○

入学試験日程

出願期間	第一次選考結果発表	第二次選考	合格者発表日	入学手続締切日
2025年9月1日(月)～9月5日(金) 締切日消印有効*	2025年9月29日(月) 10:00	2025年10月19日(日)	2025年11月3日(月) 10:00	2025年11月14日(金)

*日本国外から出願する場合は、9月5日(金)必着とします。

選考方法

第一次選考合格者に対して第二次選考を行います。
 第一次選考：志望理由書、活動報告書、出身学校調査書、外国語資格・検定試験の成績に基づいて書類審査を行います。
 第二次選考：講義、講義の要旨、小論文、グループディスカッション、面接[※]を実施します。小論文・グループディスカッションは講義に関連した内容とします。
 ※情報数理科学科の面接では、数学に関する基礎的な理解度も確認します。

入学検定料 35,000円

特徴

- 本入試の合格者を対象とした「挑戦する知性」奨学金^{*1}があります。採用された場合は、学納金相当額および授業入寮者には寮経費相当額を4年間給付^{*2}します。
^{*1} 「挑戦する知性」奨学金を希望する場合は、入試出願と同時に奨学金の申請もする必要があります。奨学金の申請には条件等があります。奨学金の申請資格等、詳細については公式サイト「挑戦する知性」奨学金募集要項をご参照ください。
^{*2} 毎年度継続審査があります。
- 「挑戦する知性」奨学金に採用された場合は、入学を辞退することはできません。
- 他大学との併願、本学の「学校推薦型選抜」および「一般選抜」との併願も可能です。

概要

志願者の意欲・個性・学力・資質を出願書類、英語資格・検定試験の成績、講義の要旨、小論文、グループディスカッションおよび面接等により多面的・総合的に評価して可否を判定します。

募集学科、募集人員

人文学科 17名、国際社会学科 9名、経済経営学科 12名、心理学科 6名、社会コミュニケーション学科 11名、情報数理科学科 5名
 ※人文学科は出願の際に志望専攻を選択していただきます。合格し入学する場合、出願の際に志望した専攻に入学となります。
 ※出願状況および選考の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合がありますが、その欠員分は一般選抜(個別学力試験型)の募集人員に加えられます。

出願資格

以下の要件をすべて満たしている女子とします。

- (1) 次の①～③のいずれかに該当する者
 - ① 高等学校もしくは中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者
 - ② 通常の課程による12年の学校教育を2026年3月修了見込みの者
 - ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2026年3月31日までに修了見込みの者
- (2) 調査書の3年1学期または3年前期までの全体の「学習成績の状況」が3.7以上の者。ただし、二期制の高校等で出願時に3年前期までの調査書が提出できない場合は、2年後期までの「学習成績の状況」が3.7以上の者。

出願条件

出願に際して、2023年10月以降に受験した以下いずれかの4技能の英語資格・検定試験の基準を満たしていること。
 1技能でもスコアを有していない場合は、出願条件を満たしません。

試験名称	基準(4技能合計)	注意事項
ケンブリッジ英語検定 4技能CBTリンガスキル	140以上	・4技能CBTリンガスキルは、自宅受験は対象としません。
実用英語技能検定(2級以上) (従来型・S-CBT・S-Interview)	1950以上	・各級の合格・不合格ではなく、CSE2.0のスコアが基準となります。 ・一次試験免除の場合を除いて、同一試験回のスコアのみ有効とします。 ・従来型の場合は、二次試験を2023年度第2回以降に受験したスコアを有効とします(一次試験の受験日は問いません)。 ・従来型の場合、一次試験不合格もしくは二次試験未受験のスコアは、対象としません。
GTEC(検定版・CBT)	930点以上	・GTEC(アセスメント版)、および大学生・社会人向けGTECは対象としません。
IELTS™(Academic Module) (ペーパー版・コンピューター版)	4.0以上	・IELTS Online、およびIELTS™(General Training Module)は対象としません。 ・One Skill Retakeのスコアは不可とします。
TEAP(4技能パターン)	225点以上	・2024年4月以降に受験したものを有効とします。 ・同一試験日のスコアのみ有効とします(複数日のスコアの合算は不可とします)。
TOEFL iBT®	42点以上	・TOEFL ITP®テスト、TOEFL iBT® Home Edition、およびTOEFL® Essentials™は対象としません。 ・Test Dateスコアのみ有効とします。 ・MyBest®スコアを利用することはできません。
TOEIC® L&R および TOEIC® S&W	790点以上	・TOEIC® IP テストは対象としません。 ・TOEIC® L&R および TOEIC® S&W 両検定試験の受験およびスコア(4技能)を必須とします。片方(2技能)のスコアしか有していない場合、出願条件を満たしません。

2025年度知のかけはし入学試験 講義内容

講義動画

過去の出題内容公開中

講義内容	アニメ、マンガにかぎらず 20 世紀のサブカルチャーはどれも、女性や子供＝「おんな子ども」、アフリカ系市民＝「黒人」、若者＝「半人前」の文化などが、商品化され、消費されるようになったことで生まれた。これを、アニメ、マンガが広く享受され、さらに「オタク文化」が創られていったことを例にして説明した。結果として、「へん」と差別されていたものが価値づけられ、「ふつう」に享受されるようになったことがポイントである。社会科学における対抗文化論、資源動員論、価値創造論などと関連づけて、サブカルチャーを説明する試みである。 出題の意図は、サブカルチャーの背景としての工業化、商業化、消費社会を見据え、多様な価値を尊重することの大切さとリスクを自分のことばで考えて議論を深めることができるかであった。
講義の要旨	講義の要点を自分のことばで整理し、400字程度でまとめなさい(解答用紙:B4用紙(横書き)30行罫1枚)。
小論文テーマ	講義をふまえ、「ふつう」と「へん」の具体例をあげて、その転換がもたらす可能性について 800 字程度で論じなさい。
グループディスカッションテーマ	サブカルチャーに注目することで見えてくるものは何でしょうか。講義の内容をふまえて、議論してください。

知のかけはし入学試験の過去の講義動画と入試の概要を紹介する動画を本学公式サイトにて公開中です。

また、2019～2021、2023～2025年度知のかけはし入学試験の出題内容も公開中です。

